

## VII 観光動態調査ルート分析

### 1. はじめに

#### ● 報告書について

この報告書は平成 25 年度に行われた観光統計調査のデータを基に、旅行者が立ち寄った県内市町村の割合を発地別、年齢別、旅行形態別、旅行目的別に集計し、それらを参考にして周遊性の特に高いルートを抽出、分析したものである。

#### ● 調査地点について

高知県内の観光地（10 地点：室戸岬、桂浜、足摺岬、高知城、龍河洞、土佐和紙工芸村、モネの庭、アンパンマンミュージアム、黒潮本陣、四万十川観光開発遊覧船乗場）でアンケート調査を実施している。

#### ● 発地ブロックについて

- ・ 旅行者の居住都道府県を地域ブロック単位でまとめ、発地ブロックと表している。各発地ブロックは以下の通りである。

北海道・東北	：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・新潟	：新潟県、富山県、石川県、福井県
甲信・東海	：山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
海外	：すべての海外旅行者

## 2. 立寄市町村割合

### ● 集計方法について

- 立寄市町村割合では、調査時に旅行者から回答のあった「訪問した（する予定の）観光地」のうち、観光入込客統計に関する共通基準を満たした地点を、市町村地域別に集計した。

※観光入込客統計に関する共通基準

- 非日常利用が多いと判断される地点であること。
  - 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
  - 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込数5千人以上であること。
- すべての割合データ（%表記）は、小数点以下2位で四捨五入した数値を使用している。そのため、合計が100%にならない場合がある。
  - 立寄市町村の16地域は以下の通りである。

01 東洋・室戸	: 東洋町、室戸市
02 奈半利・田野等	: 奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村
03 安芸・芸西	: 安芸市、芸西村
04 香南	: 香南市
05 南国・香美	: 南国市、香美市
06 本山・大豊等	: 本山町、大豊町、土佐町、大川村
07 高知	: 高知市
08 いの	: いの町
09 土佐・日高	: 土佐市、日高村
10 佐川・越知等	: 佐川町、越知町、仁淀川町
11 須崎・中土佐	: 須崎市、中土佐町
12 梶原・津野	: 梶原町、津野町
13 四万十町	: 四万十町
14 黒潮・四万十市	: 黒潮町、四万十市
15 宿毛・三原	: 宿毛市、三原村
16 土佐清水・大月	: 土佐清水市、大月町

## ● 立寄市町村の傾向、および特徴

平成 25 年度観光動態調査の立寄市町村割合について、その傾向や特徴を記載する。

立寄市町村の延べ件数は、前年度の 9,423 件から今年度は 10,388 件と増加している。

県内 16 地域の立寄数をみると、最も多かったのは「高知」の 3,780 件 (36.4%) で、高知県観光の中心になっている。次いで、「南国・香美」の 1,314 件 (12.6%)、「黒潮・四万十市」の 1,049 件 (10.1%)、「東洋・室戸」の 897 件 (8.6%)、「土佐清水・大月」の 725 件 (7.0%) と続いている。この上位 5 地域で全体の 74.7% と大半を占めている。

発地ブロック別 (表 2-1-2) をみると、すべてのブロックで「高知」への立寄割合が最も多くなっているが、2 番目に多い地域は“北陸・新潟”、“近畿”、“中国”、“四国”が「南国・香美」、「北海道・東北」、「海外」が「東洋・室戸」、「関東」、「甲信・東海」、「九州・沖縄」が「黒潮・四万十市」と傾向が分かれている。

年代別 (表 2-2-2) をみると、10 代は「高知」、「黒潮・四万十市」への集中度が高く、20 代から 40 代は「高知」と「南国・香美」での立寄りが多くなっている。50 代と 60 代以上は「高知」への集中度が低くなる一方で、「奈半利・田野等」、「安芸・芸西」の県東部、さらに「四万十町」、「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」の県西部で全体平均を上回っている。

旅行形態別 (表 2-3-2) の傾向として、家族旅行は「高知」以外では「南国・香美」での立寄りが多くなっている。友人・知人との旅行では「高知」、「黒潮・四万十市」で全体平均を上回っている。団体旅行は立寄市町村が限られており、主に「高知」に集中し、「黒潮・四万十市」も多くなっている。一人旅では、他の旅行形態に比べて「高知」が少なく、「東洋・室戸」、「黒潮・四万十市」が多くなっている。

主な旅行目的別 (表 2-4-2) の傾向として、大半の項目で「高知」が目立って多くなっている。上位 5 項目の旅行目的をみると“名所旧跡”は「高知」、「南国・香美」を合計した割合が 6 割を超えている。“自然見物”は「高知」の割合が若干少なく、「黒潮・四万十市」、「東洋・室戸」とその周辺地域が多くなっている。“食べ物”は「高知」、「須崎・中土佐」の割合が多くなっており、「須崎・中土佐」は全体平均を大きく上回っている。“なんとなく”は「高知」が全体平均より少ないのが特徴で、その一方で「東洋・室戸」の割合が多くなっている。“帰省”は全体平均と似ており、特に目立った傾向は無かった。

## 2-1. 発地別立寄市町村割合

(表 2-1-1) 発地別立寄市町村割合 (件) [ 発地ブロック別 ]

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
北海道・東北 (n=38)	13	7	4	2	10	1	92	3			3	2		10		10	157	1.5	4.1
関東 (n=392)	98	34	11	17	100		688	16		1	48	13	17	166	5	97	1,311	12.6	3.3
北陸・新潟 (n=32)	7			2	19		56	1			1	1	4	14	2	10	117	1.1	3.7
甲信・東海 (n=134)	43	6	6	6	39	2	239	12			9	4	3	54	1	40	464	4.5	3.5
近畿 (n=754)	206	71	16	36	285	2	972	51		1	108	17	56	254	31	181	2,287	22.0	3.0
中国 (n=435)	86	38	11	33	184	3	587	32		1	53	8	24	99	13	95	1,267	12.2	2.9
四国 (n=2,112)	419	484	55	144	648	16	978	414		6	437	16	128	407	30	259	4,441	42.8	2.1
九州・沖縄 (n=102)	24	10	3	4	29		165	5			5	2	12	45	3	33	340	3.3	3.3
海外 (n=1)	1						3										4	0.0	4.0
全体 (n=4,000)	897	650	106	244	1,314	24	3,780	534		9	664	63	244	1,049	85	725	10,388	100.0	2.6

(表 2-1-2) 発地別立寄市町村割合 (%) [ 発地ブロック別 ]

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
北海道・東北 (n=38)	<b>8.3</b>	4.5	2.5	1.3	<b>6.4</b>	0.6	<b>58.6</b>	1.9			1.9	1.3		6.4		6.4
関東 (n=392)	7.5	2.6	0.8	1.3	<b>7.6</b>		<b>52.5</b>	1.2		0.1	3.7	1.0	1.3	<b>12.7</b>	0.4	7.4
北陸・新潟 (n=32)	6.0			1.7	<b>16.2</b>		<b>47.9</b>	0.9			0.9	0.9	3.4	12.0	1.7	8.5
甲信・東海 (n=134)	9.3	1.3	1.3	1.3	<b>8.4</b>	0.4	<b>51.5</b>	2.6			1.9	0.9	0.6	<b>11.6</b>	0.2	8.6
近畿 (n=754)	9.0	3.1	0.7	1.6	<b>12.5</b>	0.1	<b>42.5</b>	2.2		0.0	4.7	0.7	2.4	11.1	1.4	7.9
中国 (n=435)	6.8	3.0	0.9	2.6	<b>14.5</b>	0.2	<b>46.3</b>	2.5		0.1	4.2	0.6	1.9	7.8	1.0	7.5
四国 (n=2,112)	9.4	10.9	1.2	3.2	<b>14.6</b>	0.4	<b>22.0</b>	9.3		0.1	9.8	0.4	2.9	9.2	0.7	5.8
九州・沖縄 (n=102)	7.1	2.9	0.9	1.2	<b>8.5</b>		<b>48.5</b>	1.5			1.5	0.6	3.5	<b>13.2</b>	0.9	9.7
海外 (n=1)	<b>25.0</b>						<b>75.0</b>									
全体 (n=4,000)	8.6	6.3	1.0	2.3	<b>12.6</b>	0.2	<b>36.4</b>	5.1		0.1	6.4	0.6	2.3	10.1	0.8	7.0

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(表 2-1-3) 発地別立寄市町村割合 (%) [ 四国 ]

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	
徳島県 (n=204)	15.6	7.3	0.4	2.7	16.3	0.8	37.3	1.0				5.4	0.4	3.7	3.8	1.2	4.2
香川県 (n=327)	8.5	5.1	1.2	4.0	18.6	0.6	31.5	3.7		0.1		8.0	1.0	2.9	6.8	1.0	7.1
愛媛県 (n=454)	6.3	6.8	1.1	3.0	14.3	0.5	29.5	11.1		0.1		8.0	0.5	2.6	9.1	1.0	6.2
高知県 (n=1,127)	9.9	16.5	1.6	3.2	12.6	0.1	9.9	12.9		0.2		12.8	0.1	2.9	11.6	0.3	5.5
四国 (n=2,112)	9.4	10.9	1.2	3.2	14.6	0.4	22.0	9.3		0.1		9.8	0.4	2.9	9.2	0.7	5.8

#### ・立寄観光地の延べ件数

すべての旅行者が立寄った観光地は全体で 10,388 ヶ所となっている。その内訳を発地ブロック別にみると、四国が延べ 4,441 ヶ所 (42.8%) と最も多く、次いで近畿が 2,287 ヶ所 (22.0%)、関東が 1,311 ヶ所 (12.6%)、中国が 1,267 ヶ所 (12.2%) となっている。

#### ・上位を占めた立寄観光地の市町村

すべての旅行者が立寄った観光地を市町村別でみると、全体では「高知」が 3,780 件 (36.4%) と最も多く、次いで「南国・香美」の 1,314 件 (12.6%)、「黒潮・四万十市」の 1,049 件 (10.1%)、「東洋・室戸」の 897 件 (8.6%)、「土佐清水・大月」の 725 件 (7.0%) となっている。

#### ・発地ブロックごとの立寄市町村の傾向

立寄市町村を発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」への立寄り件数が最も多くなっている。2番目に立ち寄りが多かった市町村は、“北陸・新潟”、“近畿”、“中国”、“四国”が「南国・香美」、「北海道・東北」、「海外」が「東洋・室戸」、「関東」“甲信・東海”“九州・沖縄”が「黒潮・四万十市」と発地ブロックにより傾向が分かれている。

なお、県内旅行者は「奈半利・田野等」、「いの」、「須崎・中土佐」、「南国・香美」、「黒潮・四万十市」の順で割合が多くなっている (表 2-1-3)。

## 2-2. 年代別立寄市町村割合

(表 2-2-1) 年代別立寄市町村割合 (件)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
10代 (n=55)	12	7	2	4	14	1	48	7	0	0	4	1	1	15	1	5	122	1.2	2.2
20代 (n=563)	119	73	11	39	238	1	615	48	0	2	70	12	27	152	5	86	1,498	14.4	2.7
30代 (n=981)	193	110	23	62	448	7	865	114	0	1	140	12	40	245	12	147	2,419	23.3	2.5
40代 (n=865)	204	116	21	69	279	5	916	131	0	2	186	12	56	221	9	139	2,366	22.8	2.7
50代 (n=684)	187	165	24	32	152	6	585	87	0	3	138	12	52	181	15	140	1,779	17.1	2.6
60代以上 (n=852)	182	179	25	38	183	4	751	147	0	1	126	14	68	235	43	208	2,204	21.2	2.6
全体 (n=4,000)	897	650	106	244	1,314	24	3,780	534	0	9	664	63	244	1,049	85	725	10,388	100.0	2.6

(表 2-2-2) 年代別立寄市町村割合 (%)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=55)	9.8	5.7	1.6	3.3	11.5	0.8	39.3	5.7			3.3	0.8	0.8	12.3	0.8	4.1			
20代 (n=563)	7.9	4.9	0.7	2.6	15.9	0.1	41.1	3.2		0.1	4.7	0.8	1.8	10.1	0.3	5.7			
30代 (n=981)	8.0	4.5	1.0	2.6	18.5	0.3	35.8	4.7		0.0	5.8	0.5	1.7	10.1	0.5	6.1			
40代 (n=865)	8.6	4.9	0.9	2.9	11.8	0.2	38.7	5.5		0.1	7.9	0.5	2.4	9.3	0.4	5.9			
50代 (n=684)	10.5	9.3	1.3	1.8	8.5	0.3	32.9	4.9		0.2	7.8	0.7	2.9	10.2	0.8	7.9			
60代以上 (n=852)	8.3	8.1	1.1	1.7	8.3	0.2	34.1	6.7		0.0	5.7	0.6	3.1	10.7	2.0	9.4			
全体 (n=4,000)	8.6	6.3	1.0	2.3	12.6	0.2	36.4	5.1		0.1	6.4	0.6	2.3	10.1	0.8	7.0			

※ **白抜き** は年代で1位、**太字** は同2位

### ・年代別にみた立寄観光地の延べ件数

年代別に立寄った観光地をみると、30代の旅行者が981組で2,419ヶ所と最も多くなっている。次いで40代が865組で2,366ヶ所、60代以上が852組で2,204ヶ所、50代が684組で1,779ヶ所、20代が563組で1,498ヶ所、10代が55組で122ヶ所となっている。

平均立寄数は20代と40代が2.7ヶ所で最も多く、次いで50代と60代以上が2.6ヶ所、30代が2.5ヶ所、と10代が2.2ヶ所という結果となっている。

### ・年代による立寄観光地の傾向

- 10代：「高知」の39.3%が年代別で2番目に多い割合となっている。「高知」について多くなった「黒潮・四万十市」は年代別で最も多くなっている。
- 20代：「高知」の41.1%が年代別で最も多くなっており、2番目に多い「南国・香美」も15.9%と全体平均を上回っている。
- 30代：「高知」について多くなった「南国・香美」は、18.5%と全体平均を上回り、年代別で最も多くなっている。一方、「奈半利・田野等」は年代別で最も少なくなっている。
- 40代：「高知」の割合は全体平均を上回っており、「須崎・中土佐」は年代別で最も高くなっている。
- 50代・60代以上：「高知」、「南国・香美」などで全体平均を下回っている。一方で、「奈半利・田野等」や県西部の「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」などで全体平均を上回っている。

## 2-3. 旅行形態別立寄市町村割合

(表 2-3-1) 旅行形態別立寄市町村割合 (件)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
家族 (n=2,706)	559	425	58	186	1,052	18	2,515	346	0	5	487	35	159	636	45	434	6,960	67.0	2.6
友人・知人 (n=764)	170	160	34	42	191	5	804	93	0	3	131	16	49	223	14	170	2,105	20.3	2.8
団体 (n=64)	7	8	0	3	21	0	92	2	0	0	4	1	7	29	4	22	200	1.9	3.1
その他 (n=64)	28	12	3	7	8	0	65	9	0	0	4	1	3	9	1	7	157	1.5	2.5
一人 (n=402)	133	45	11	6	42	1	304	84	0	1	38	10	26	152	21	92	966	9.3	2.4
全体 (n=4,000)	897	650	106	244	1,314	24	3,780	534	0	9	664	63	244	1,049	85	725	10,388	100.0	2.6

(表 2-3-2) 旅行形態別立寄市町村割合 (%)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
家族 (n=2,706)	8.0	6.1	0.8	2.7	<b>15.1</b>	0.3	<b>36.1</b>	5.0		0.1	7.0	0.5	2.3	9.1	0.6	6.2
友人・知人 (n=764)	8.1	7.6	1.6	2.0	9.1	0.2	<b>38.2</b>	4.4		0.1	6.2	0.8	2.3	<b>10.6</b>	0.7	8.1
団体 (n=64)	3.5	4.0		1.5	10.5		<b>46.0</b>	1.0			2.0	0.5	3.5	<b>14.5</b>	2.0	11.0
その他 (n=64)	<b>17.8</b>	7.6	1.9	4.5	5.1		<b>41.4</b>	5.7			2.5	0.6	1.9	5.7	0.6	4.5
一人 (n=402)	13.8	4.7	1.1	0.6	4.3	0.1	<b>31.5</b>	8.7		0.1	3.9	1.0	2.7	<b>15.7</b>	2.2	9.5
全体 (n=4,000)	8.6	6.3	1.0	2.3	<b>12.6</b>	0.2	<b>36.4</b>	5.1		0.1	6.4	0.6	2.3	10.1	0.8	7.0

※ **白抜き** は旅行形態で 1 位、**太字** は同 2 位

### ・旅行形態別にみた立寄観光地の延べ件数

旅行形態別に立寄った観光地をみると、集計対象の多い家族旅行者が 2,706 組で 6,960 ケ所 (平均 2.6 ケ所) と全体の 67.0% を占めている。次いで友人・知人が 764 組で 2,105 ケ所 (平均 2.8 ケ所)、一人旅が 402 人で 966 ケ所 (平均 2.4 ケ所)、団体旅行が 64 組で 200 ケ所 (平均 3.1 ケ所)、その他が 64 組で 157 ケ所 (平均 2.5 ケ所) となっている。

### ・旅行形態による立寄市町村の傾向

すべての旅行形態で「高知」が最も多い割合を占めている。特に団体が 46.0% と多くなっている。2 番目に多くなった市町村は、家族が「南国・香美」、友人・知人、団体、一人旅が「黒潮・四万十市」、その他が「東洋・室戸」となっている。

- 家族旅行：集計対象の大半を占めているため、全体平均に近くなっているが、特に「南国・香美」、「須崎・中土佐」が多くなっている。
- 友人・知人：「高知」の次に多い「黒潮・四万十市」で全体平均を上回っており、一方で「南国・香美」などが少なくなっている。
- 団体旅行：「高知」が旅行形態別で最も多く、「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」なども多くなっている。
- その他：「高知」の次に多い「東洋・室戸」が旅行形態別で最も多くなっている。一方、「南国・香美」、「黒潮・四万十市」で全体平均を下回っている。
- 一人旅：「東洋・室戸」、「いの」、「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」などで多くなっている。一方、「香南」、「南国・香美」、「高知」、「須崎・中土佐」で全体平均を下回っている。

## 2-4. 旅行目的別立寄市町村割合

(表 2-4-1) 旅行目的別立寄市町村割合 (件)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
自然見物 (n=930)	302	264	26	57	248	5	813	95		5	49	34	42	316	6	274	2,536	24.4	2.7
休養 (n=217)	55	53	11	14	52		222	21		1	58	1	15	46	2	46	597	5.7	2.8
祭り (n=149)	10	12	3	4	67	2	199	10					1	29		6	353	3.4	2.4
アウトドア (n=186)	45	3	2	8	22	2	95	87		1	35	4	12	78	1	33	428	4.1	2.3
スポーツ (n=42)	5	1		2	6		57				2			25		1	99	1.0	2.4
食べ物 (n=503)	83	45	9	24	109	1	571	52		1	265	12	41	105	2	64	1,384	13.3	2.8
神仏霊場 (n=113)	32	12		2	56		54	1			1		55	15	63	92	383	3.7	3.4
買い物 (n=153)	31	19	6	3	7	2	73	44			67	1	9	54		2	318	3.1	2.1
名所旧跡 (n=953)	128	148	35	76	581	6	1,237	35			42	7	30	166	3	120	2,614	25.2	2.7
なんとなく (n=325)	114	48	7	18	57	6	135	112		1	30	4	11	91	3	39	676	6.5	2.1
観光・その他 (n=98)	8	12	4	4	14		57	21			31		7	24	5	14	201	1.9	2.1
帰省・仕事 (n=321)	84	33	3	32	94		252	55			68		21	99		34	775	7.5	2.4
その他 (n=10)					1		15	1			6			1			24	0.2	2.4
全体 (n=4,000)	897	650	106	244	1,314	24	3,780	534		9	664	63	244	1,049	85	725	10,388	100.0	2.6

(表 2-4-2) 旅行目的別立寄市町村割合 (%)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
自然見物 (n=930)	11.9	10.4	1.0	2.3	9.8	0.2	<b>32.1</b>	3.8		0.2	1.9	1.3	1.7	<b>12.5</b>	0.2	10.8
休養 (n=217)	9.2	8.9	1.8	2.4	8.7		<b>37.2</b>	3.5		0.2	<b>9.7</b>	0.2	2.5	7.7	0.3	7.7
祭り (n=149)	2.8	3.4	0.9	1.1	<b>19.0</b>	0.6	<b>56.4</b>	2.8			2.8		0.3	8.2		1.7
アウトドア (n=186)	10.5	0.7	0.5	1.9	5.1	0.5	<b>22.2</b>	<b>20.3</b>		0.2	8.2	0.9	2.8	18.2	0.2	7.7
スポーツ (n=42)	5.1	1.0		2.0	6.1		<b>57.6</b>				2.0			<b>25.3</b>		1.0
食べ物 (n=503)	6.0	3.3	0.7	1.7	7.9	0.1	<b>41.3</b>	3.8		0.1	<b>19.2</b>	0.9	3.0	7.6	0.1	4.6
神仏霊場 (n=113)	8.4	3.1		0.5	14.6		<b>14.1</b>	0.3			0.3		14.4	3.9	<b>16.5</b>	<b>24.0</b>
買い物 (n=153)	9.8	6.0	1.9	0.9	2.2	0.6	<b>23.0</b>	13.8			<b>21.1</b>	0.3	2.8	17.0		0.6
名所旧跡 (n=953)	4.9	5.7	1.3	2.9	<b>22.2</b>	0.2	<b>47.3</b>	1.3			1.6	0.3	1.2	6.4	0.1	4.6
なんとなく (n=325)	<b>16.9</b>	7.1	1.0	2.7	8.4	0.9	<b>20.0</b>	16.6		0.2	4.4	0.6	1.6	13.5	0.4	5.8
観光・その他 (n=98)	4.0	6.0	2.0	2.0	7.0		<b>28.4</b>	10.5			<b>15.4</b>		3.5	11.9	2.5	7.0
帰省・仕事 (n=321)	10.8	4.3	0.4	4.1	12.1		<b>32.5</b>	7.1			8.8		2.7	<b>12.8</b>		4.4
その他 (n=10)					4.2		<b>62.5</b>	4.2			<b>25.0</b>					4.2
全体 (n=4,000)	8.6	6.3	1.0	2.4	<b>12.7</b>	0.2	<b>36.4</b>	5.1		0.1	6.4	0.6	2.4	10.1	0.8	7.0

※ **白抜き** は旅行目的で1位、**太字** は同2位

### ・旅行目的別にみた立寄観光地の延べ件数

旅行目的別に立寄った観光地をみると、“名所旧跡”が953組で2,614ヶ所（平均2.7ヶ所）と全体の25.2%を占めている。次いで“自然見物”が930組で2,536ヶ所（平均2.7ヶ所）、“食べ物”が503組で1,384ヶ所（平均2.8ヶ所）、“なんとなく”が325組で676ヶ所（平均2.1ヶ所）、“帰省・仕事”が321組で775ヶ所（平均2.4ヶ所）、“休養”が217組で597ヶ所（平均2.8ヶ所）となっている。

#### ・旅行目的による立寄市町村の傾向

大半の旅行目的で「高知」が最も多い割合を占めたが、「神仏霊場」は「土佐清水・大月」が最も多くなっている。2番目に多くなった市町村は、「祭り」、「名所旧跡」は「南国・香美」、「アウトドア」は「いの」、「休養」、「食べ物」、「買い物」、「観光・その他」、「その他」は「須崎・中土佐」、「自然見物」、「スポーツ」、「帰省・仕事」は「黒潮・四万十市」、「神仏霊場」は「宿毛・三原」、「なんとなく」は「東洋・室戸」となっている。

- 名所旧跡：「高知」が47.3%と多く、「南国・香美」も22.2%と目立って多くなっている。
- 自然見物：名所旧跡と正反対の傾向で、「高知」や「南国・香美」が少なくなっている。一方、「東洋・室戸」、「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」などが全体平均を超えて多くなっており、「奈半利・田野等」が旅行目的別で最も多くなっている。
- 食べ物：「須崎・中土佐」が19.2%と全体平均を大きく上回り、「買い物」と同様に旅行目的別で群を抜いて多くなっている。
- なんとなく：「高知」は20.0%と少ないのが特徴で、その一方、「東洋・室戸」、「いの」が多くなっている。
- 帰省・仕事：全体平均と似ており、特に目立った傾向は無かった。
- 休養：食べ物と同様に「須崎・中土佐」が多くなっている。
- アウトドア：「高知」、「いの」、「黒潮・四万十市」の3地域がそれぞれ20%前後を占め、次いで「東洋・室戸」が多くなっている。
- 買い物：「高知」、「須崎・中土佐」、「黒潮・四万十市」の3地域が20%前後を占め、その合計は61.1%となっている。
- 祭り：旅行目的別で「高知」が56.4%と飛び抜けて多く、「南国・香美」も多くなっている。
- 神仏霊場：「土佐清水・大月」、「宿毛・三原」、「四万十町」は旅行目的別で最も多くなっている。一方で「香南」、「高知」、「いの」、「須崎・中土佐」、は旅行目的別で最も少なくなっている。

### 3. 周遊ルート分析

- 報告内容について

この項目では、平成 25 年観光統計調査で得られた、「訪問した（する予定の）観光地」データを基に、旅行者（発地ブロック別、旅行形態別）がどのような順序でどの県内地域を観光したか、その周遊性の高いルートを分析している。

- 集計方法について

- ・ 「訪問した（する予定の）観光地」を下記の周遊7エリアで集計し、傾向の似通ったルートを抽出している。
- ・ 周遊ルートの傾向をより分かりやすくするため、訪問した周遊エリアで連続したデータは省略している。  
※例 「高知市」-「高知市」-「東部」の場合、「高知市」-「東部」として集計。
- ・ 発地ブロック別分析では、北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外の5ブロックからは入込が少数のため、この5ブロックを合計し、“その他”として集計している。
- ・ 県内旅行者の周遊ルートは居住地や調査地等の影響を強く受けているため、全体および四国ブロックから除外し、単独で集計している。

- 周遊7エリア

東部 : 東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、安芸市、芸西村、馬路村

物部川 : 香南市、南国市、香美市

高知市 : 高知市

仁淀川 : いの町、土佐市、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町

高幡 : 須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町

幡多 : 四万十市、黒潮町、宿毛市、三原村、土佐清水市、大月町

嶺北 : 本山町、大豊町、土佐町、大川村

## ● 周遊ルートの傾向、および特徴

平成 25 年度の周遊ルート分析について、その傾向や特徴を記載する。

すべての県外旅行者の周遊ルート（表 3-1-1-1）をみると、「高知市」エリアだけで観光を終える割合が 15.5%と最も多くなっている。また、上位 4 位は単一エリア内で観光を終えた周遊ルートが占めている。

主な発地ブロック別で傾向をみると、四国ブロック（表 3-1-2-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが多くなっている。広範囲に移動するルートでは、「高知市」と「物部川」を含むルートが上位になっている。

近畿ブロック（表 3-1-3-1）と中国ブロック（表 3-1-4-1）は、「高知市」エリアのみの単一ルートが最も多く、「幡多」も上位になっている。広範囲に移動するルートでは、四国ブロックと同様に、「高知市」と「物部川」を含むルートが上位になっている。

関東ブロック（表 3-1-5-1）とその他ブロック（表 3-1-6-1）は、「高知市」のみの単一ルートが最も多くなっている。広範囲に移動するルートでは、「高知市」と「幡多」のルートが上位になっている。

県内旅行者（表 3-1-7-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが大半を占めているのが特徴で、「高知市」のみが 1 位を占めた他のブロックとは異なり、「東部」のみが 1 位となっている。

旅行形態別で傾向をみると、家族旅行（表 3-2-1-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが上位 6 位を占め、「高知市」、「物部川」、「東部」、「幡多」、「仁淀川」、「高幡」の順で多くなっており、「物部川」と「東部」の割合は全体平均を大きく上回っている。

友人・知人との旅行（表 3-2-2-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが上位 6 位を占め、「高知市」、「東部」、「幡多」、「仁淀川」、「物部川」、「高幡」の順で多くなっている。また、全体平均と比べ、「東部」のみの割合が目立って多くなっている。

団体旅行（表 3-2-3-1）は、「高知市」のみ、「幡多」のみ、「幡多」から「高知市」のルートが多くなっている。単一エリアだけで観光を終える割合が多いことから、四国内の他県へ周遊するパック旅行が多かったと推測される。

一人旅（表 3-2-4-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが上位5位を占め、「幡多」、「東部」、「高知市」、「仁淀川」、「高幡」の順で多くなっている。「幡多」エリアが全体平均を大きく上回っている。また、一人旅はエリアを越える周遊ルートの割合が非常に少ない傾向が見られる。

### 3-1. 発地別周遊ルート

#### 3-1-1. 県外旅行者全体

すべての県外旅行者 2,873 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-1-1)周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					446	15.5%
幡多					256	8.9%
物部川					212	7.4%
東部					207	7.2%
物部川	→	高知市			178	6.2%
高知市	→	物部川			156	5.4%
高知市	→	幡多			125	4.4%
東部	→	高知市			99	3.4%
幡多	→	高知市			99	3.4%
高幡					93	3.2%

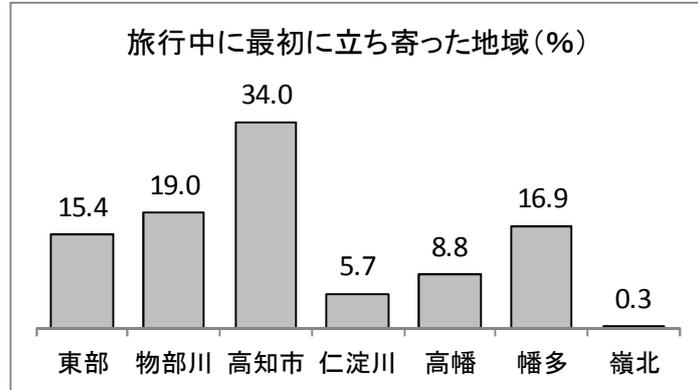
#### ・上位を占めた周遊ルート

県外旅行者 2,873 組の周遊ルートを見ると、単一エリア内で観光を終えた周遊ルートが上位 4 位までを占めている。

占める割合の多い順で周遊ルートを見ると、「高知市」を訪問し、他エリアに立寄りがない旅行者が 446 組 (15.5%) で最も多くなっている。次いで、「幡多」のみが 256 組 (8.9%)、「物部川」のみが 212 組 (7.4%)、「東部」のみが 207 組 (7.2%) となっている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄ったエリアは、「高知市」が最も多く34.0%、次いで「物部川」が19.0%、「幡多」が16.9%、「東部」が15.4%、「高幡」が8.8%、「仁淀川」が5.7%、「嶺北」が0.3%となっている。

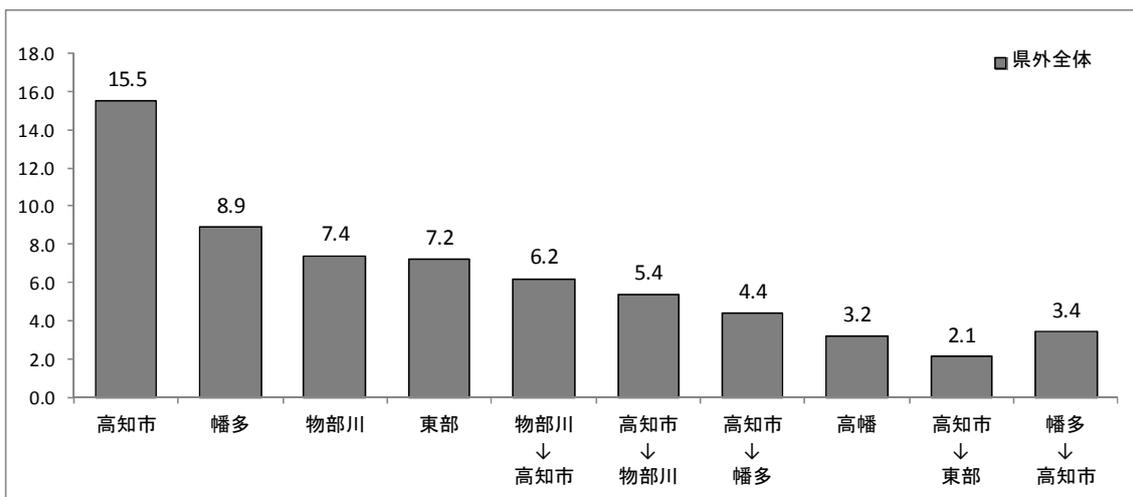


・周遊ルートの傾向

他エリアへの移動を伴う周遊ルートに限って上位をみると、「物部川」から「高知市」の6.2%、「高知市」から「物部川」の5.4%、「高知市」から「幡多」の4.4%などが多くなっている(図3-1-1-2)。

このように「高知市」を含む他エリアへの移動を伴う周遊ルートが多くなっている。

(図3-1-1-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 上位 10 位まで ]



### 3-1-2. 四国

高知県をのぞく四国3県からの旅行者985組の周遊ルートの上位10位は以下の通りになっている。

(表 3-1-2-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	120	12.2%
物部川	119	12.1%
東部	106	10.8%
幡多	97	9.8%
物部川 → 高知市	63	6.4%
仁淀川	62	6.3%
高幡	48	4.9%
高知市 → 物部川	45	4.6%
高幡 → 幡多	27	2.7%
物部川 → 東部	26	2.6%

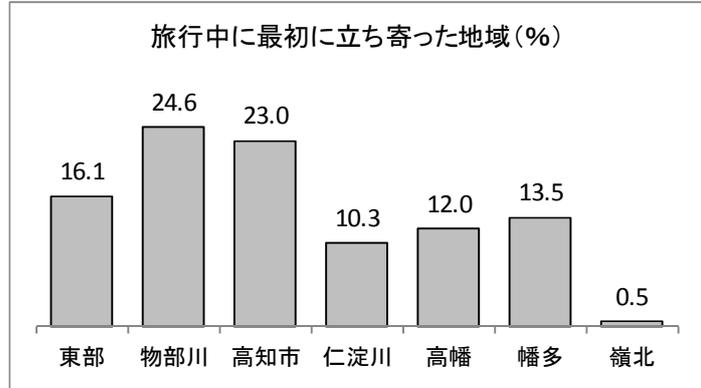
#### ・上位を占めた周遊ルート

四国3県の旅行者985組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が120組(12.2%)と最も多くなっている。次いで「物部川」のみが119組(12.1%)、「東部」のみが106組(10.8%)、「幡多」のみが97組(9.8%)と続いている。このように、上位4位まで単一エリア内で観光を終える周遊ルートが占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートの上位を見ると、「物部川」から「高知市」の63組(6.4%)、「高知市」から「物部川」の45組(4.6%)となっている。

・周遊ルート of 玄関口

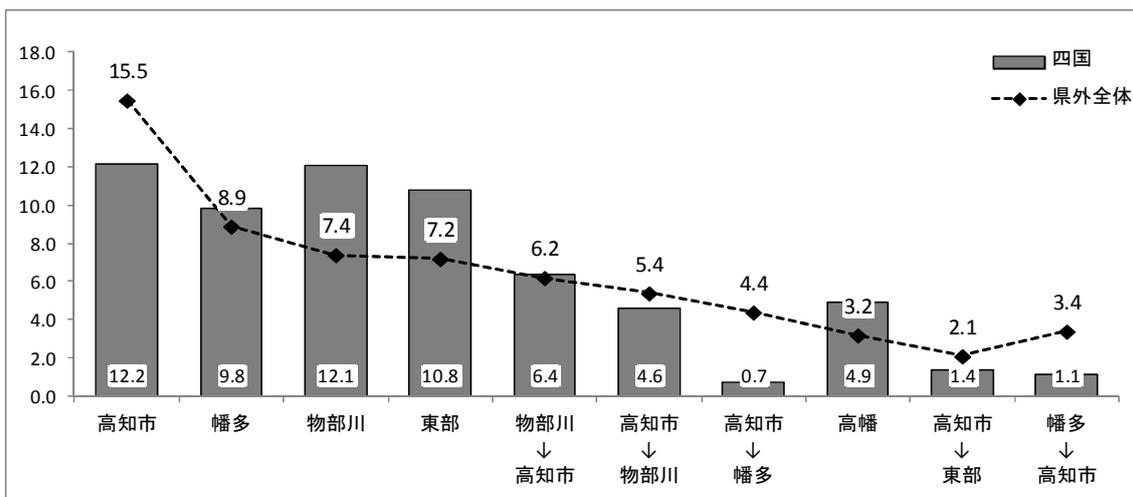
旅行中に最初に立ち寄った周遊エリアは、「物部川」が最も多く 24.6%、次いで「高知市」が 23.0%、「東部」が 16.1%、「幡多」が 13.5%、「高幡」が 12.0%、「仁淀川」が 10.3%、「嶺北」が 0.5%となっている。



・周遊ルートの傾向

他のブロックや県外全体と比べ、「高知市」を含む周遊ルートの割合が少なくなっている。特に、県外全体では最も多い「高知市」のみで観光を終えた割合は 3.3 ポイント少ない 12.2% となっている。「高知市」から「物部川」へのルート、「高知市」から「幡多」へのルートとその逆のルート、「高知市」から「東部」へのルートも少なくなっている。一方、「幡多」、「物部川」、「東部」、「高幡」のみで観光を終えた割合は県外全体よりも多くなっている (図 3-1-2-2)。

(図 3-1-2-2) 主な周遊ルート割合 (%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-1-3. 近畿

近畿ブロックからの旅行者 754 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-3-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	116	15.4%
幡多	71	9.4%
東部	49	6.5%
高知市 → 物部川	46	6.1%
物部川 → 高知市	44	5.8%
高知市 → 幡多	41	5.4%
物部川	39	5.2%
東部 → 高知市	33	4.4%
幡多 → 高知市	23	3.1%
高幡	20	2.7%

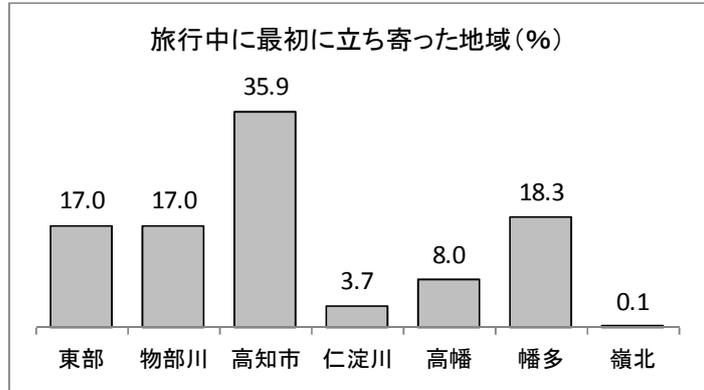
#### ・上位を占めた周遊ルート

近畿ブロックの旅行者 754 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 116 組 (15.4%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のみが 71 組 (9.4%)、「東部」のみが 49 組 (6.5%) と続いている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートの上位をみると、「高知市」から「物部川」の 46 組 (6.1%)、「物部川」から「高知市」の 44 組 (5.8%)、「高知市」から「幡多」の 41 組 (5.4%)、「東部」から「高知市」の 33 組 (4.4%)、「幡多」から「高知市」の 23 組 (3.1%) となっている。

・周遊ルート of 玄関口

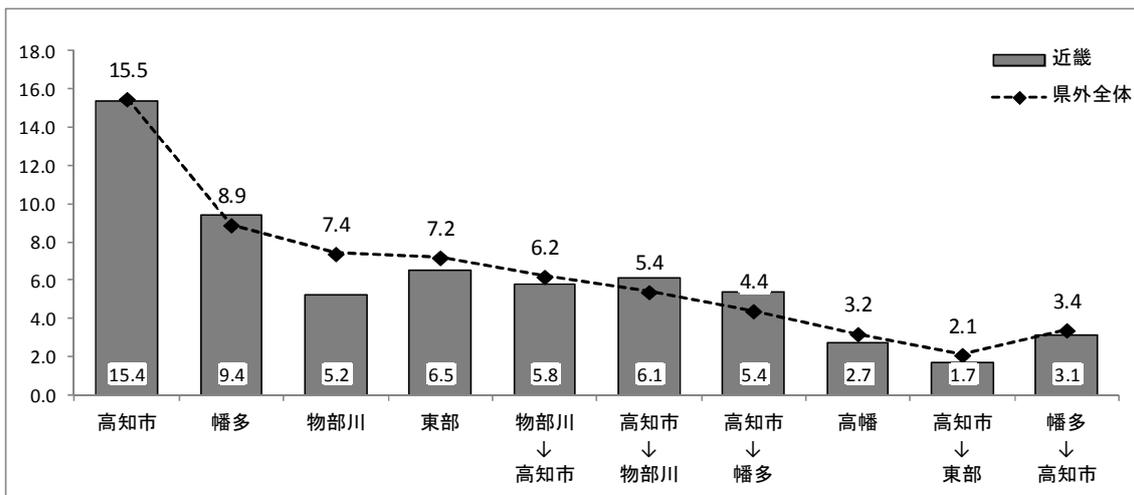
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 35.9%、次いで「幡多」が 18.3%、「東部」、「物部川」がそれぞれ 17.0%、「高幡」が 8.0%、「仁淀川」が 3.7%、「嶺北」が 0.1% となっている。



・周遊ルートの傾向

主な周遊ルートでは、「物部川」のみで観光を終えた割合が、県外全体より 2.2 ポイント少ないことが目立つ程度で、県外全体とよく似通った傾向になっている (図 3-1-3-2)。

(図 3-1-3-2) 主な周遊ルート割合 (%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-1-4. 中国

中国ブロックからの旅行者 435 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-4-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

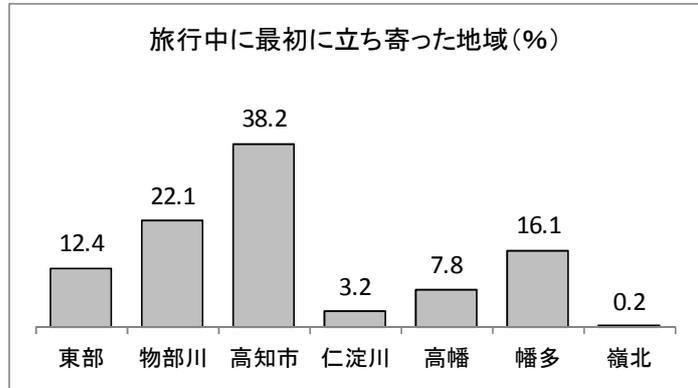
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					78	17.9%
物部川	→	高知市			40	9.2%
幡多					39	9.0%
高知市	→	物部川			39	9.0%
物部川					34	7.8%
東部					26	6.0%
高幡					16	3.7%
東部	→	高知市			15	3.4%
幡多	→	高知市			12	2.8%
高幡	→	幡多			10	2.3%

#### ・上位を占めた周遊ルート

中国ブロックの旅行者 435 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 78 組 (17.9%) と最も多くなっている。次いで「物部川」から「高知市」のルートが 40 組 (9.2%)、「幡多」のみと「高知市」から「物部川」のルートがそれぞれ 39 組 (9.0%)、「物部川」のみが 34 組 (7.8%) と続いている。

・周遊ルート of 玄関口

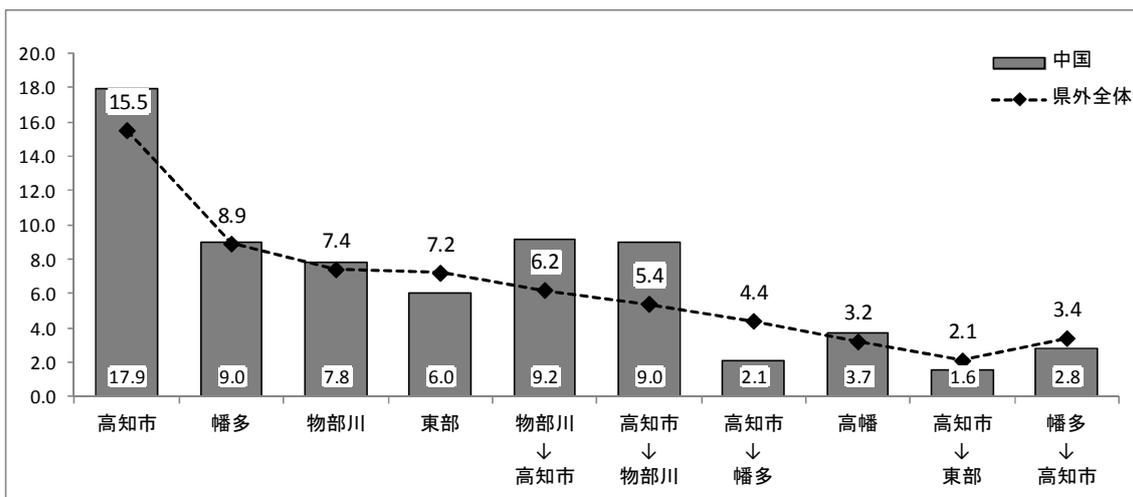
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 38.2%、次いで「物部川」が 22.1%、「幡多」が 16.1%、「東部」が 12.4%、「高幡」が 7.8%、「仁淀川」が 3.2%、「嶺北」が 0.2%となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみで観光を終えた割合、「物部川」から「高知市」とその逆ルートの割合が目立って多くなっており、「高知市」と「物部川」を含むルートが多い傾向となっている (図 3-1-4-2)。

(図 3-1-4-2) 主な周遊ルート割合 (%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-1-5. 関東

関東ブロックからの旅行者 392 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-5-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

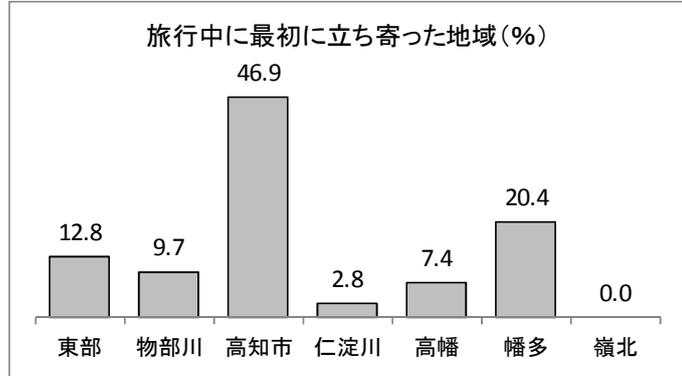
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	77	19.6%
高知市 → 幡多	44	11.2%
幡多 → 高知市	37	9.4%
幡多	24	6.1%
東部	19	4.8%
高知市 → 物部川	16	4.1%
物部川 → 高知市	15	3.8%
高知市 → 東部	15	3.8%
東部 → 高知市	13	3.3%
物部川	9	2.3%

#### ・上位を占めた周遊ルート

関東ブロックの旅行者 392 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 77 組 (19.6%) と最も多くなっている。次いで「高知市」から「幡多」のルートが 44 組 (11.2%)、「幡多」から「高知市」のルートが 37 組 (9.4%)、「幡多」のみが 24 組 (6.1%)、「東部」のみが 19 組 (4.8%)、「高知市」から「物部川」のルートが 16 組 (4.1%) と続いている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 46.9%、次いで「幡多」が 20.4%、「東部」が 12.8%、「物部川」が 9.7%、「高幡」が 7.4%、「仁淀川」が 2.8% となっている。

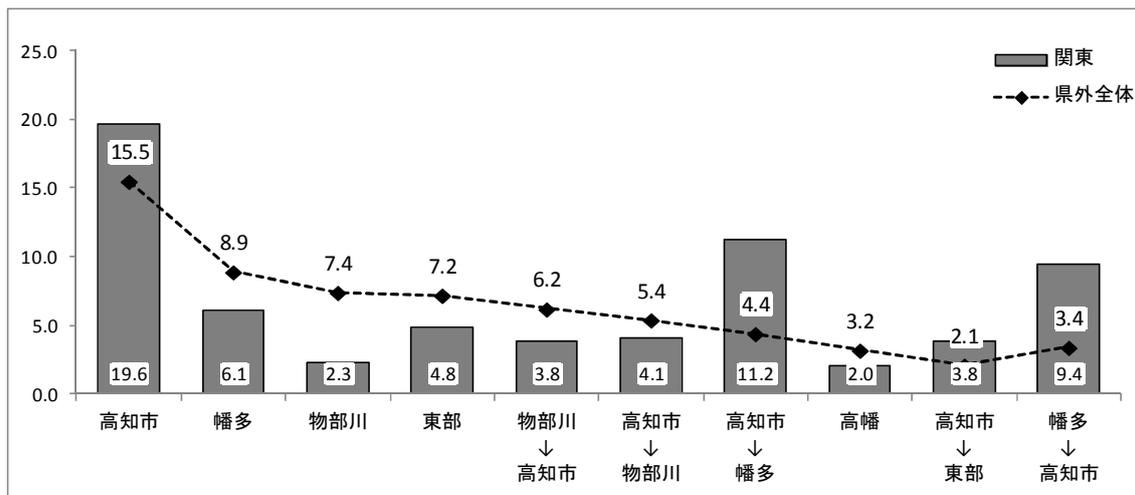


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみ、「高知市」から「幡多」とその逆ルートの割合が目立って多くなっている。一方、「高知市」以外の単一エリアのみで観光を終えた割合は県外全体よりも少なくなっている (図 3-1-5-2)。

周遊ルートの上位を「高知市」と「幡多」を含むルートで占めていることから、高知県観光の中心が「高知市」と「幡多」になっていることが分かる。

(図 3-1-5-2) 主な周遊ルート割合 (%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-1-6. その他(北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外)

その他 5 ブロックからの旅行者 307 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-6-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

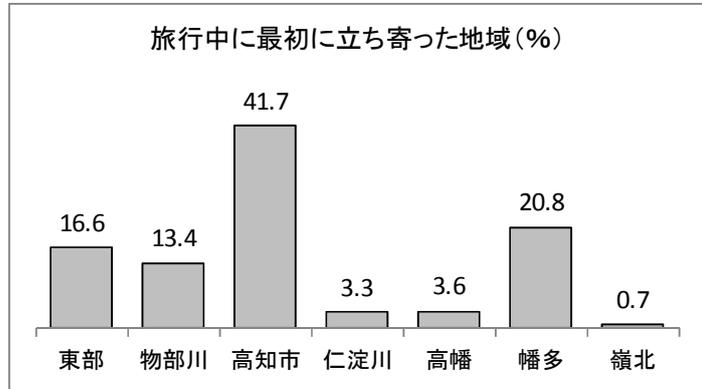
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	55	17.9%
幡多	25	8.1%
高知市 → 幡多	24	7.8%
幡多 → 高知市	16	5.2%
物部川 → 高知市	16	5.2%
東部 → 高知市	16	5.2%
高知市 → 東部	11	3.6%
物部川	11	3.6%
高知市 → 物部川	10	3.3%
東部 → 高知市 → 幡多	10	3.3%

#### ・上位を占めた周遊ルート

その他 5 ブロックの旅行者 307 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 55 組 (17.9%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のみが 25 組 (8.1%)、「高知市」から「幡多」のルートが 24 組 (7.8%)、「幡多」から「高知市」のルート、「物部川」から「高知市」のルート、「東部」から「高知市」のルートがそれぞれ 16 組 (5.2%) と続いている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く41.7%、次いで「幡多」が20.8%、「東部」が16.6%、「物部川」が13.4%、「高幡」が3.6%、「仁淀川」が3.3%、「嶺北」が0.7%となっている。

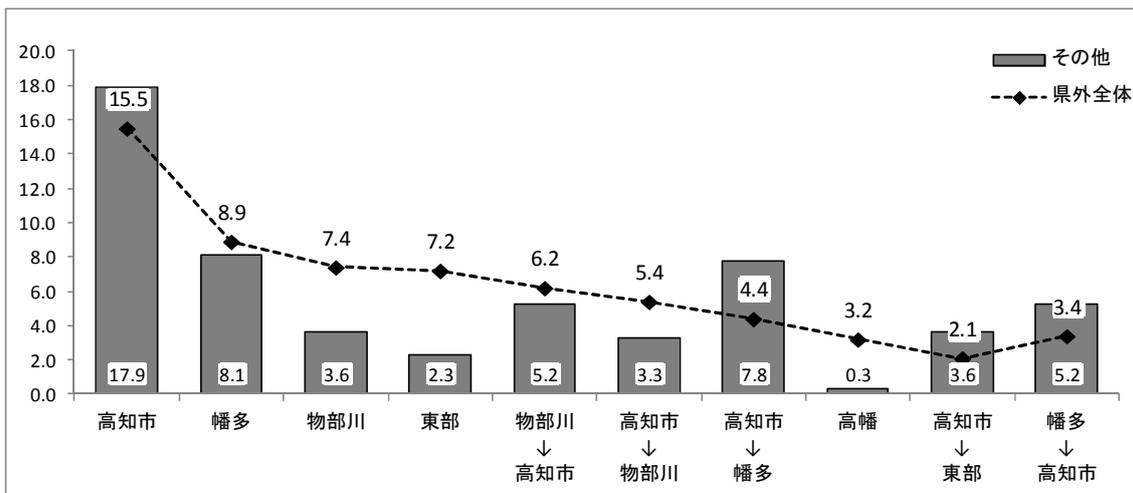


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみ、「高知市」から「幡多」とその逆ルートの割合が目立って多くなっている (図 3-1-6-2)。

関東ブロックと同様に、高知県観光の中心が「高知市」と「幡多」という結果になっている。

(図 3-1-6-2) 主な周遊ルート割合 (%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-1-7. 高知県

高知県からの旅行者 1,127 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-7-1) 発地別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

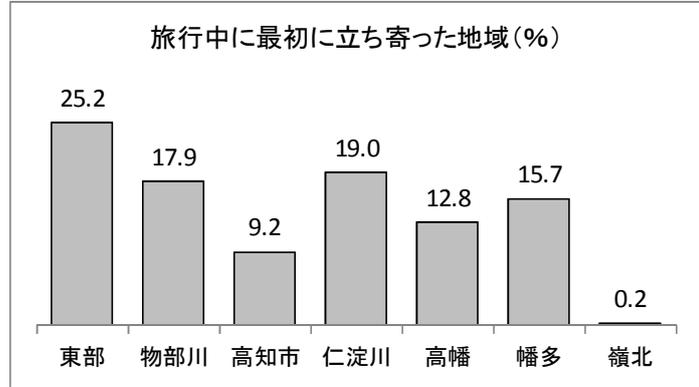
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
東部					264	23.4%
仁淀川					199	17.7%
物部川					175	15.5%
幡多					155	13.8%
高幡					110	9.8%
高知市					88	7.8%
東部	→	物部川			19	1.7%
幡多	→	高幡			17	1.5%
高幡	→	仁淀川			17	1.5%
物部川	→	東部			15	1.3%

#### ・上位を占めた周遊ルート

県内旅行者 1,127 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみを訪問した旅行者が 264 組 (23.4%) と最も多くなっている。次いで「仁淀川」のみが 199 組 (17.7%)、「物部川」のみが 175 組 (15.5%)、「幡多」のみが 155 組 (13.8%)、「高幡」のみが 110 組 (9.8%)、「高知市」のみが 88 組 (7.8%) と上位 6 位まで単一エリア内で観光を終える周遊ルートが占めている。

・周遊ルート of 玄関口

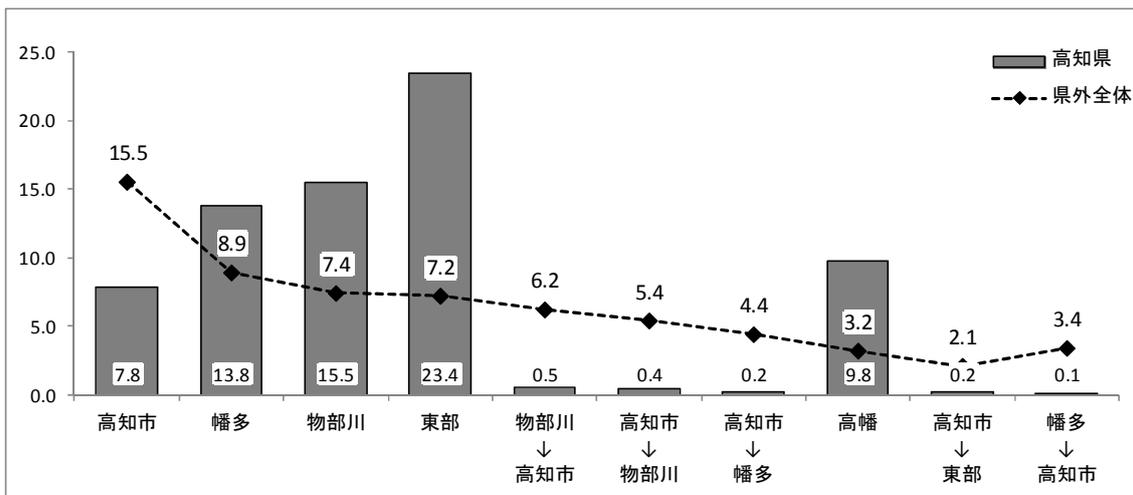
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「東部」が最も多く 25.2%、次いで「仁淀川」が 19.0%、「物部川」が 17.9%、「幡多」が 15.7%、「高幡」が 12.8%、「高知市」が 9.2%、「嶺北」が 0.2%となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」エリアのみ、他エリアへの移動を伴う周遊ルートが目立って少なくなっている一方で、「高知市」エリア以外の単一エリアで観光を終える割合は多くなっている。特に、「東部」のみを訪問する旅行者の割合が、全体平均を大きく上回っている (図 3-1-7-2)。

(図 3-1-7-2) 主な周遊ルート割合 (%) [ 県外旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-2. 旅行形態別周遊ルート

#### 3-2-1. 家族

家族旅行 2,706 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-1-1) 旅行形態別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					343	12.7%
物部川					340	12.6%
東部					308	11.4%
幡多					237	8.8%
仁淀川					178	6.6%
高幡					149	5.5%
物部川	→	高知市			149	5.5%
高知市	→	物部川			123	4.5%
高知市	→	幡多			80	3.0%
東部	→	高知市			56	2.1%

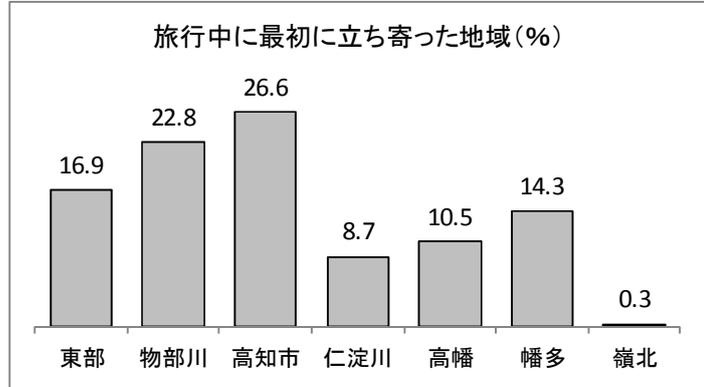
#### ・上位を占めた周遊ルート

家族旅行 2,706 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 343 組 (12.7%) と最も多くなっている。次いで「物部川」のみが 340 組 (12.6%)、「東部」のみが 308 組 (11.4%)、「幡多」のみが 237 組 (8.8%)、「仁淀川」のみが 178 組 (6.6%)、「高幡」のみが 149 組 (5.5%) と続いている。このように、単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位 6 位までを占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川」から「高知市」の 149 組 (5.5%)、「高知市」から「物部川」の 123 組 (4.5%)、「高知市」から「幡多」の 80 組 (3.0%)、「東部」から「高知市」の 56 組 (2.1%) となっている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く26.6%、次いで「物部川」が22.8%、「東部」が16.9%、「幡多」が14.3%、「高幡」が10.5%、「仁淀川」が8.7%、「嶺北」が0.3%となっている。

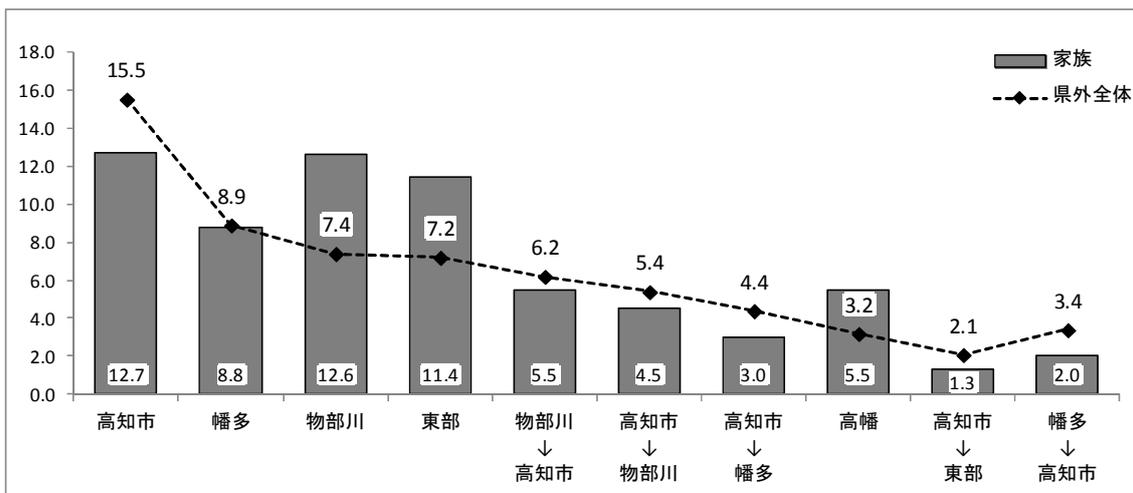


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」エリアのみで観光を終える割合が少なく、「物部川」のみ、「東部」のみ、「高幡」のみの割合が多くなっている (図 3-2-1-2)。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートは、すべて全体平均を下回っている。このようなことから、単一のエリアを目的にした訪問が、家族旅行の人気を集めていることが推測される。

(図 3-2-1-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-2-2. 友人・知人

友人・知人との旅行者 764 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-2-1) 旅行形態別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	111	14.5%
東部	95	12.4%
幡多	81	10.6%
仁淀川	50	6.5%
物部川	39	5.1%
高幡	34	4.5%
高知市 → 幡多	34	4.5%
物部川 → 高知市	26	3.4%
東部 → 高知市	26	3.4%
幡多 → 高知市	26	3.4%

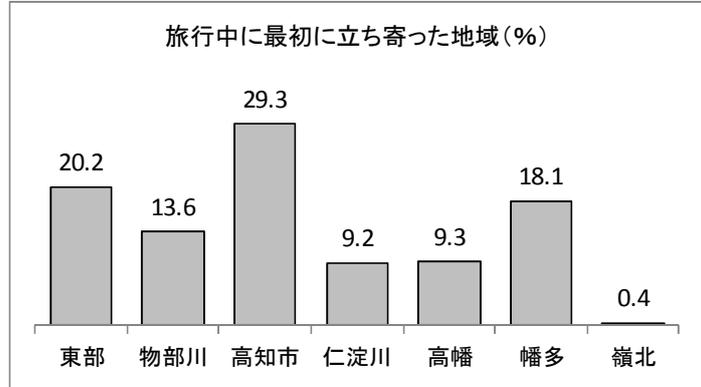
#### ・上位を占めた周遊ルート

友人・知人との旅行者 764 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 111 組 (14.5%) と最も多くなっている。次いで「東部」のみが 95 組 (12.4%)、「幡多」のみが 81 組 (10.6%)、「仁淀川」のみが 50 組 (6.5%)、「物部川」のみが 39 組 (5.1%)、「高幡」のみが 34 組 (4.5%) と続いている。家族旅行と同様に、単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位 6 位までを占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市」から「幡多」の 34 組 (4.5%)、「物部川」から「高知市」の 26 組 (3.4%)、「東部」から「高知市」と「幡多」から「高知市」がそれぞれ 26 組 (3.4%) となっている。

・周遊ルート of 玄関口

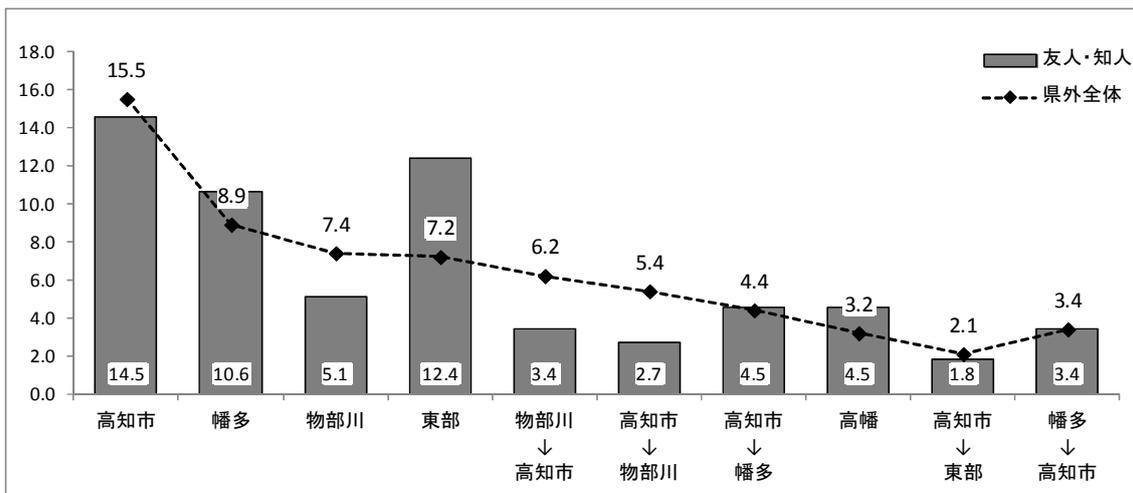
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く29.3%、次いで「東部」が20.2%、「幡多」が18.1%、「物部川」が13.6%、「高幡」が9.3%、「仁淀川」が9.2%、「嶺北」が0.4%となっている。



・周遊ルート of 傾向

県外全体と比べ、「東部」のみの割合が目立って多く、「幡多」のみ、「高幡」のみも多くなっている一方で、「高知市」、「物部川」を含む観光ルートは、友人・知人での旅行で全体平均を下回っている（図 3-2-2-2）。

(図 3-2-2-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-2-3. 団体

団体旅行 64 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-3-1) 旅行形態別周遊ルート (件・%) [ 周遊エリア3まで ]

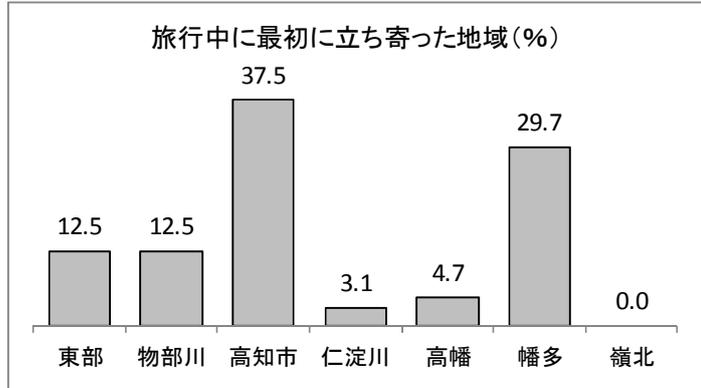
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	13	20.3%
幡多	10	15.6%
幡多 → 高知市	7	10.9%
高知市 → 物部川	6	9.4%
物部川 → 高知市	4	6.3%
東部 → 物部川	3	4.7%
東部	2	3.1%
仁淀川	2	3.1%
物部川	2	3.1%
(※対象多数のため略)	2	3.1%

#### ・上位を占めた周遊ルート

団体旅行 64 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した団体旅行が 13 組 (20.3%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のみが 10 組 (15.6%)、「幡多」から「高知市」の 7 組 (10.9%)、「高知市」から「物部川」の 6 組 (9.4%)、「物部川」から「高知市」の 4 組 (6.3%) と続いている。

・周遊ルート of 玄関口

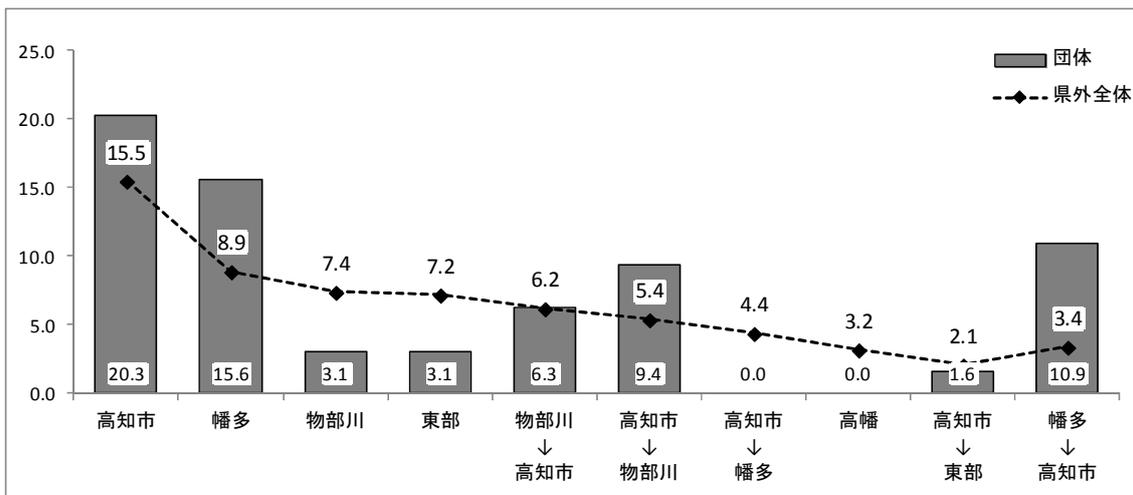
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く37.5%、次いで「幡多」が29.7%、「東部」、「物部川」がそれぞれ12.5%、「高幡」が4.7%、「仁淀川」が3.1%となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみ、「幡多」のみ、「幡多」から「高知市」、「高知市」から「物部川」のルートが目立って多くなっている(図 3-2-3-2)。単一エリアだけで観光を終える割合が多いことから、四国内の他県へ周遊するパック旅行が多かったと推測される。

(図 3-2-3-2) 主な周遊ルート割合(%) [ 旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



### 3-2-4. 一人

一人旅の旅行者 402 人の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-4-1) 旅行形態別周遊ルート (件) [ 周遊エリア3まで ]

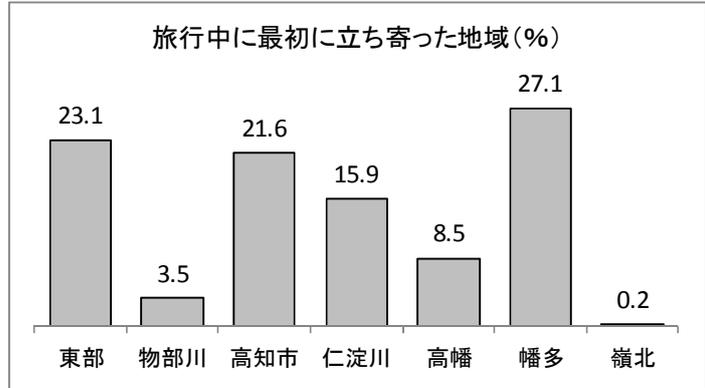
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	人数	割合
幡多	76	18.9%
東部	55	13.7%
高知市	52	12.9%
仁淀川	51	12.7%
高幡	18	4.5%
東部 → 高知市	14	3.5%
幡多 → 高知市	12	3.0%
高幡 → 幡多	11	2.7%
(※対象多数のため略)	11	2.7%

#### ・上位を占めた周遊ルート

一人旅の旅行者 402 人の周遊ルートを見ると、「幡多」のみを訪問した旅行者が 76 人 (18.9%) と最も多くなっている。次いで「東部」のみが 55 人 (13.7%)、「高知市」のみが 52 人 (12.9%)、「仁淀川」のみが 51 人 (12.7%)、「高幡」のみが 18 人 (4.5%) と続いている。このように単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位 5 位までを占めている。

・周遊ルート of 玄関口

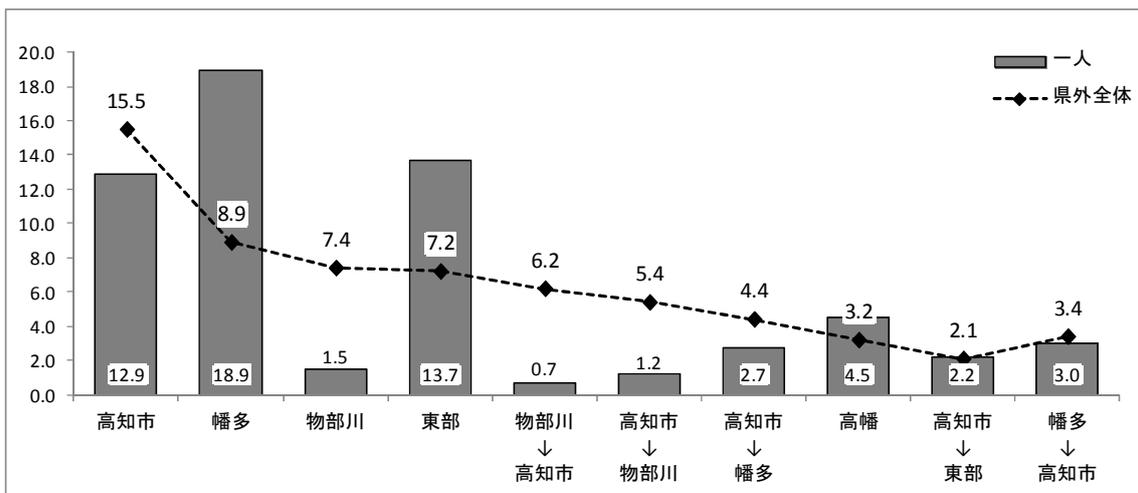
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「幡多」が最も多く 27.1%、次いで「東部」が 23.1%、「高知市」が 21.6%、「仁淀川」が 15.9%、「高幡」が 8.5%、「物部川」が 3.5%、「嶺北」が 0.2%となっている。



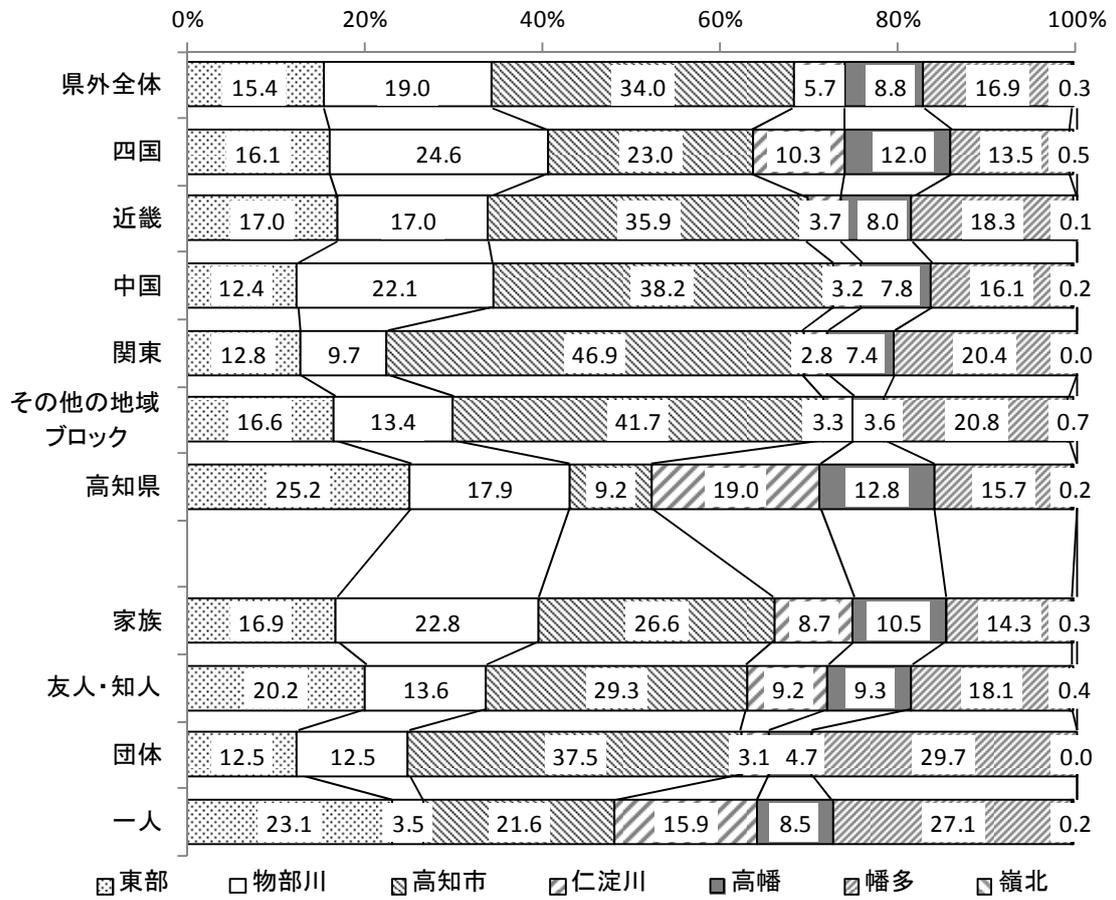
・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「幡多」のみ、「東部」のみの割合が目立って多くなっている。一方、「高知市」のみ、「物部川」のみの割合は県外全体を大きく下回っており、単一エリアだけの観光で傾向が分かれている。また、一人旅でエリアを越える周遊ルートの割合は非常に少なくなっている (図 3-2-4-2)。

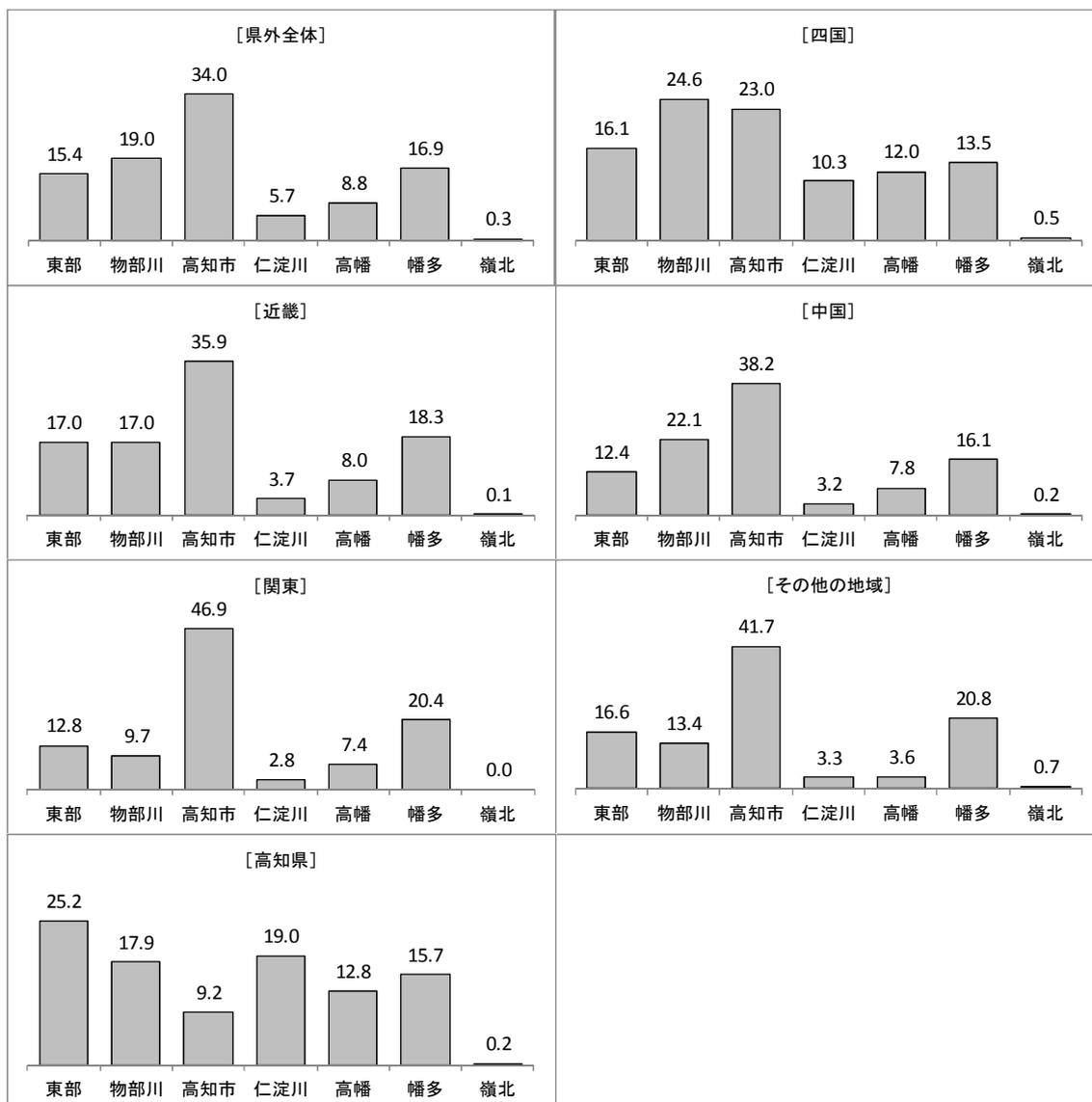
(図 3-2-4-2) 主な周遊ルート割合 (%) [ 旅行者全体の上位 10 位との比較 ]



(参考 1)発地ブロック別・旅行形態別旅行中に最初に立寄った地域(%)



(参考 2)発地ブロック別旅行中に最初に立寄った地域(%)



(参考 3)旅行形態別旅行中に最初に立寄った地域(%)

